



代々木歯科コーナー

連載



歯を失ってしまう原因

— その76 — 歯科医師 監物佐栄子

今回は歯を失ってしまった原因についてお話をします。

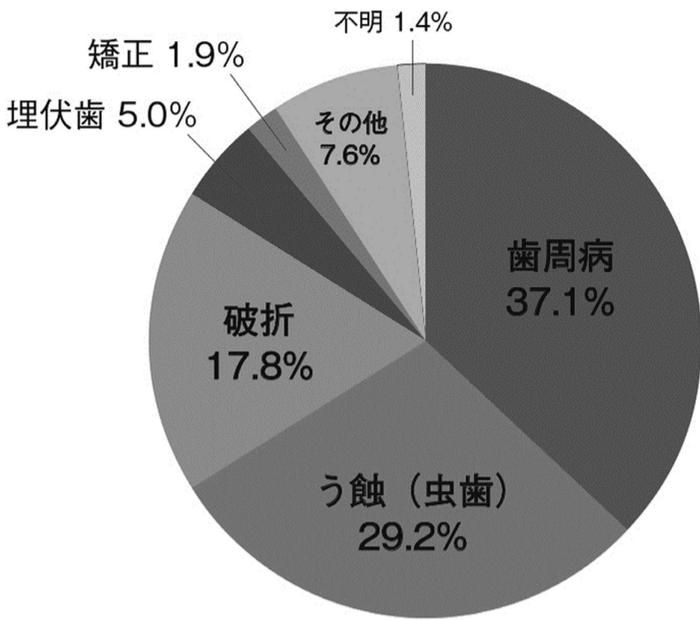
しかし年齢を重ねたからといって、必ずしも歯が抜けるとは限りません。虫歯や歯周病などの口内トラブルは、細菌感染によるもので、適切な口内ケアを行って口腔内を清潔に保つことで、歯を喪失するリスクを軽減させることが出来ます。

日本人が歯を失う原因のNo.1は、歯周病です。2018年に報告された第2回永久歯抜歯原因調査では、歯周病とむし歯だけで抜歯原因の6割以上を占めています。さらに、年齢が高くなるごとに失う歯の本数は多くなり、2016年に行われた歯科疾患実態調査では、平均喪失本数が75歳79歳は10・3本、80歳84歳12・9本、85歳以上になると17・5本になりま

す。音がかしにくくなったり、口元が老けてみえたり、噛み合わせのバランスが崩れたりします。歯を失うことは、生活の質や口腔の健康に大きな影響を与えます。

いつまでも自分の歯を健康に使い続けるためには、歯の喪失の予防が大切です。毎日の歯磨きが重要ですが、どうしても磨き残しが出てきてしまうので、歯の痛みがなくても、定期的に歯科検診を受け、お口の中の点検をしてもらってみてはいかがでしょうか？

抜歯原因の割合



平成30年11月 公益財団法人8020推進財団 「第2回永久歯の抜歯原因調査」より

入院患者さんとのリモート面会始めました

9月より入院している患者さんとのリモート面会を開始しました。

代々木病院では、今年2月から新型コロナウイルスの感染予防として病院内にウイルスを持ち込まないために、病棟での面会を禁止しています。患者さん・ご家族には大変なご協力をお願いしています。



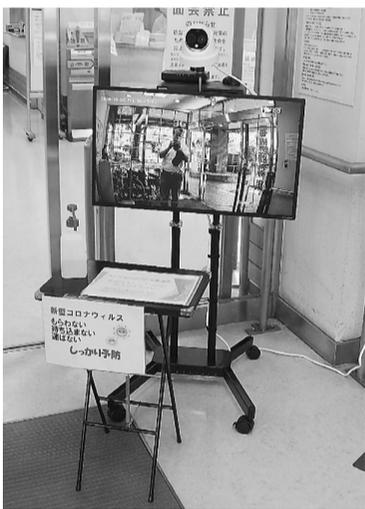
ご家族は病院個室のテレビ電話を通じて入院中の患者さんと顔を見ながら対話できます。

しかし、面会禁止により、顔を見て喋ることも出来ず、患者さんご家族もつらく寂しい思いをしてこられました。

そこで、患者さんご家族の不安や心配を少しでも緩和し、安心して入院生活を送っていただくために、患者さんご家族のリモートでの面会を開始しました。面会に来られたご家族は病院内の個室でテレビ電話を通して入院中の患者さんとお話が出来ます。リモート面会をされた

自動検温システムを導入しました

代々木病院では、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、自動検温システムを導入し、病院本館と東館玄関入口に設置しました。



代々木病院本館玄関入口に設置された自動検温システム。テレビ画面に体温が表示されます。

AIで顔認識をして、体表温度を測定する「サーモカメラ」の前に立つと、すぐにテレビ画面に体温が表示されます。マスクのままで検温が行えます。37℃以上の発熱を認める方には音声アラームが鳴ります。鳴った場合は入館せず正面玄関でお待ち下さい。職員がトリアシ環境にご案内し、再度腋下で体温を測り37・5℃以上の場合

は救急外来での対応となります。今後も感染防止に努めて参ります。引き続き皆様のご理解ご協力をお願い致します。

(64) やせるサプリメントの効力

サプリメントに頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)



日新聞の記事が「葛の花由来イソフラボン」の効力に厳しい評価を下しています。

根拠論文の一つは、

BMI(体格指数)が平均27・5という軽度肥満の人に12週間飲んでもらった結果、内臓脂肪面積

などで偽薬を飲んだ人より減少が大きいとする結果を示しています。しかし

肝心の体重減少の差は、体重75kgの人で1kg程度でした。

朝日新聞の取材に対し、論文執筆者が所属するメーカーは「食品は薬ではないので大幅にはやせない」と答えています。

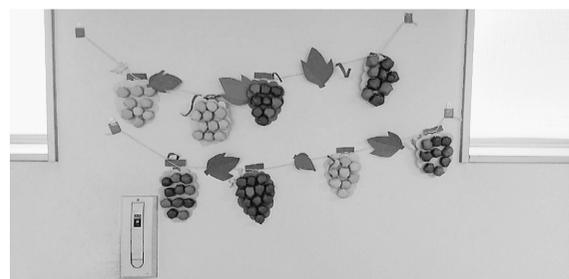
また、広告改善措置を命じた消費者庁の担当者は「複数の根拠論文を開発を止め、機能性表示

総合的にみても、減少は体重が1キログラム程度、ウエスト周囲径が1センチ程

が必要で、国による公的規制



3階渡り廊下は「秋のフルーツ」



月に一度の模様替えをする3階の渡り廊下。9月10月はぶどう、リンゴなど「秋のフルーツ」が実っています。リハ中の患者さんとセラピストで共同作成。患者さんも季節を感じながら廊下を渡ります。